

空手 LIFE

カラテ・ライフ

No.64

2013.Jan & Feb

I-2

第44回全日本大会

～第5回カラテワールドカップ最終選抜戦～

島本兄弟、 これが空手母國の新たな一歩

全国制覇!

第8期ユース・ ジャパン始動!



資料用 持出禁止

山本健策直伝
倒すためのテクニック
～ヒザ蹴り編～

全ロシア大会
南米大会
東北大会
全中国大会

小林 功 副代表 鈴木国博 参段

ポーランド

POLAND

2012年8月29～9月5日

さらに勢力を増していくポーランド
その秘密は研究熱心な姿勢にあり

写真提供／ポーランド支部



鈴木参段リポート

ね迎リもしBしラ

3日に大会が開催されました。か、直前まで小林副代表は審査会に参加。私は2時間半、指導を任せられることになりました。黒帯であります。十心に100名近くの参加者が体育館に集結。体幹や肩甲骨を意識して技術の出し方を説明させていただきました。試合に出場する現役選手が多かったためか、コンビネーションに関する質問が多くつたように思います。その学ぶ姿勢はとても真摯で、ますますボーランド強くなりそうな印象を受けました。の中でも、バネがあつて技量がある軽量級の若い双子の兄弟がいる。世界の舞台に出てきそうです。

小林功副代表同行で、ボランティア支部主催のセミナーに参加してきました。今回は、「KOKO-HO CUP」(8月31日)に出場した山本和也選手や杉浦栄哉選手を含む一連の打ち合わせをしました。

今回のボーランド出張では、小林副代表のお弟子さんで、日本とボーランドの橋渡し役として貢献されている宮崎晃夫さんに、大変お世話になりました。通訳、手配、お心配りなどすべてが完璧でした。また、小林副代表に初めて同行させていただき勉強になりました。このような機会を与えていただき、ありがとうございます。

塙本徳臣 参段 将口恵美 初段

インドネシア

INDONESIA

2012年9月7~11日

塙本支部長の技術指導に熱視線
チャンピオンセミナーは大盛況

写真提供／インドネシア支部



将口初段リポート

塙本部長に同行して、インドネシア支部主催のチャンピオンセミナーに参加してきました。海外は試合と旅行で何回か行つたことはありましたが、セミナーは初めての経験です。最初は不安でしたが、塙本部長と一緒に大好きなマレーシアのチャン部長、ジャカルタのフティマン分支部長、そしてタイから永島文秋支部長も参加され豪華な顔合わせとなりました。夕食を兼ねた打ち合わせで塙本支部長は、各国の代表と英語で会話できるほど堪能で驚きました。

初日は、昼から稽古がスタートでした。塙本支部長は、廻し蹴りのコンビネーションや胴廻し回転蹴りを丁寧にわかりやすく指導されました。約120名も集まつた参加者は、黒帯を中心で塙本支部長のまわりを囲み、食い入るように見つめています。そして習ったことを、その場で反復していました。

私は、女子の参加者の担当です。後ろ廻し蹴り、下突き、前足の上段廻し蹴りのカウンターや、前蹴りの受け返しなどを指導しました。中・高校生が中心で、10人から15人くらいはいたと思います。イス

ラム教の国ですから、頭に布をかぶつて稽古をする女性もいました。また、足袋をはいたまま稽古をする人や、全身タイツで肌を覆い見せないように努力する女性もいて感動しました。地域によって、戒律の厳しさは異なるようですが、ここが日本と大きく違う点です。

二日目は、早朝からみんなで海岸を走り、午後からは初日と同じようにセミナーを行ないました。

最終日の質問コーナーでは、塚本支部長に技術的なアドバイスを求める内容が多かったです。上段に拳立て伏せの質問が飛び、毎日、ヒザ蹴り、前蹴りの出し方など、とてもわかりやすく解説をされました。私には、初日の稽古中いました。やっていると答えたら、みんな驚いていたのが印象的でした。

インドネシアの道場生は稽古時間が少なく、サポートを持っていない人がいました。日本がいかに恵まれているのか、海外に行くとよくわかります。組手は、1ヶ月に1回くらいしかできないそこで、毎日、組手ができる環境にいる私たちは幸せだなと思いました。

最後に途中で体調を崩し、迷惑をかけてしまった塚本支部長、関係者の方々、申し訳ございませんでした。貴重な経験をさせていたただき、ありがとうございました。